

実施クラス			実施日		実施保育者名
5	歳児	もも組	6	月 5 日 (木)	中村

● 実施計画

活動テーマ		
サイエンス光 ～光と影の探検ごっこ～		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
気温が上がり、戸外に出ると太陽の暑さを感じたり、日陰、日向を知るなど光を意識しなくても感じている姿は見られる。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00～	<ul style="list-style-type: none"> ・光とは何か考えを話し合う。 ・光が何かに当たると必ずできるものは何か考えを話し合う。 ・保育者の影を作る実験を見る。 	【環境設定】 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。 ・正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にする。 ・待ち時間を少なくし、集中できる時間を長く持てるよう、実験などではグループで進めていく。 ・机があると寄りかかろうとしてしまう為、必要な数用意し、使わない時は椅子との距離を開けるようにする。
10:15	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれ動物の玩具に懐中電灯の光を当て影の変化を観察する。 ・太陽の光は触れるか、集められるか話し合い、蓄光の玩具を観察する。 	【活動使用教材】 <ul style="list-style-type: none"> ・懐中電灯 ・中心地が分かる円の紙(中心に動物の玩具を置く為) ・動物の玩具 ・蓄光の玩具
10:30～	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外に出掛け、どんな所にどんな影が出来るのか体験する。 	【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・中心地が分かる円の紙を製作(グループの枚数) ・動物の玩具数種類、子どもが立てられるか、影の形が見やすい物を選んでおく
11:00	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外でどんな気付きがあったか振り返る。 	

● 活動の様子



● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・光についての話し合いは、手を挙げ当てられた子ども達が順に発表し、難しい内容ながらもよく考え発表していた。</p> <p>・実験では、グループになり3人または2人でどのように影を作るか、役割分担や順番を相談しながら活動していた。</p> <p>・戸外では、公園内の木の葉の間から差し込む光を見つけたり、日陰の中にも日陰を見つける様子があった。</p>	<p>【子どもの姿・声】</p> <p>・「太陽みたい」「電気」「触るとびりびりする」など子どもなりのイメージを持って意見を出していた。また【光が当たると必ずできるもの】と言う質問にもテーマの名前から考えるのではなく「虹かな」「野菜？」と話を聞いたうえで考えていた。</p> <p>・「影が短くなったり長くなる」「光が前で影は後ろにできるね」と影を作るだけではなくどこにできるのかや変化を観察し驚いていた。</p> <p>【保育者との関わり】</p> <p>・【光】というテーマから【電気】に話題が変わっていきそうになった際「テーマはなんだった？」と問いかけ、テーマに沿った考えが出来るよう促した。</p> <p>・グループ活動では先にやりたい気持ちが出てしまう子どももいた為、どんな風に進めるか話し合いを勧めた。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・【光】と【電気】の違いを説明する際、子ども達に伝わりやすい言葉が見つからなかった。テーマに関する子どもの意見をもっと想像し、調べ伝えられるよう準備が必要だった。</p> <p>・グループ活動にしたことで待っている時間が短くなっただけでなく、友だちと協力して行える様な工夫や、役割分担をしようとする意識をもてる活動になった。自身の意見を通そうとする子ども達もまだいる為、子ども同士で話し合い決めていく活動を入れていきたい。</p>	<p>「光で遊ぶ」という体験は、単に楽しいだけでなく、光という身近な存在の科学的な側面に触れる良い機会となったと思います。</p>

実施クラス			実施日			実施保育者名		
5	歳児	もも組	7	月	23日(水)	中村		

● 実施計画

活動テーマ	
たべもの～水～ 水はどこからくるの？	
活動テーマに関する 日頃の興味関心について	
前回の活動後から、自分たちの使っている蛇口がどこにどのようにつながっているか興味を持っている様子がある。	
時間	内容
10:00～	・前回の振り返りを行い、どんな所に水があったか発表する。 ・今回のテーマ【水はどこからくるのか】を聞き、自分なりの考えを発表する。 ・水道下の扉を開けて水道管を観察する。
10:20	・水の循環が分かる絵本を見た上で自分の考えていた予想と同じだったか、どんなことを思い、気付いたか伝え合ったり、考える。 ・地域の浄水場を知る。
10:30～	・ろ過装置を使って川や汚い水がどうなるのか予想し、実験を行う。
環境設定・準備物	
【環境設定】 ・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。 ・正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にする。 【準備物】 ・ペットボトル ・小石や砂利 ・泥水 ・水槽 ・絵本 【事前準備】 ・ろ過装置で使用する小石や砂利、キッチンペーパーをまとめておく。 ・地域の浄水場の写真を印刷しておく。 ・水槽に泥を入れておく。	

● 活動の様子



● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
・前回発表出来なかった子どもも前回の振り返りを行う事で、体験や気付きを整理したり発表を行っていた。 ・水はどこからくるのか絵本を見る事で、自分の生活と繋げ想像し「地面の下に水道管がある」と話し合う。 ・実際に水道の下扉を開け水道管を観察すると、曲がっている事や取り付け部分にも目を向け興味を持ち活動していた。 ・浄水場や川の水を取り込む塔の写真を見ながら自分たちの為に働いている人や浄水場の仕組みに興味を持っていた。 ・ろ過実験に使用する石や砂利は、粒の大きさを比べ確認しながら積極的に活動に取り組んでいた。 ・ろ過した後の無色の水を見て保育者に飲める水か質問を受けたが、今までの体験や知識から考えを発表していた。	【子どもの姿・声】 ・「水道の下初めて見た」「どうしてくねくねしてるのかな」と疑問を持ちながら観察していた。 ・ろ過に使用する石を観察し「これはサラサラでお米みたいに小さい」「これは公園の砂利みたいじゃない？」「川の石みたいなの大きい」と特徴を感じながら話していた。 ・ろ過実験では「いつも実験は上手くいくから今回も大丈夫」「やってみようよ」と失敗を恐れずに前向きに取り組んでいた。 ・「ありがたいね」と水に関わる人や、綺麗な水になる工程の大変さを感じていた。 【保育者との関わり】 ・子ども達の意見に「どう思う？」と問いかけ深めていけるように声を掛けた。

● 振り返り

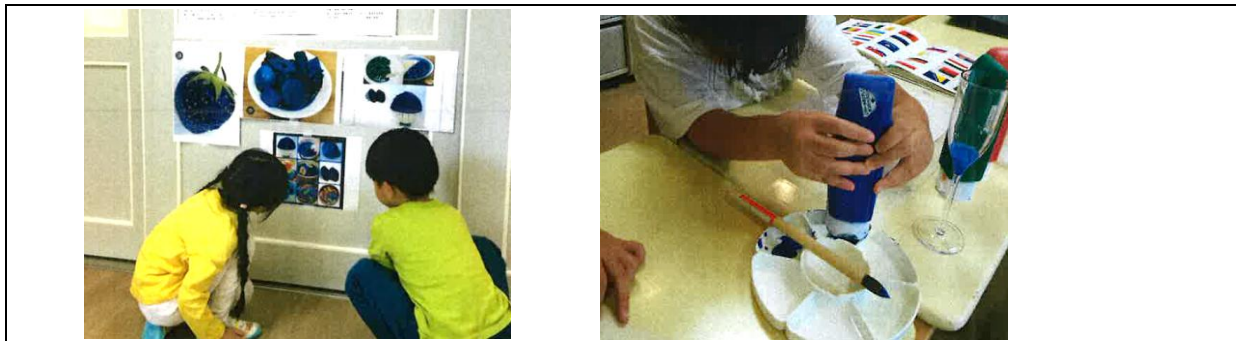
保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
・前回発表をしなかった子ども達も、繰り返し振り返る時間を持つ事で知識が整理でき発表したり、自信を持って活動に参加出来るようになっていった。その都度、活動は大切だが振り返りの時間の大切さも感じられた。 ・浄水場の紹介後、ろ過実験を行った事で「浄水場と同じだ」と子どもたちなりの一致が感じられた。 ・ろ過した後の水を見て「綺麗な色になったけど飲む水とは違う」「見えないばい菌が入って汚い」と理解している事に驚いた。	水のろ過の実験では、泥水がろ材(小石、砂利、砂、活性炭)を通ることで、とてもきれいな透明な水になったことに驚いている子どもたちの姿が印象的でした。

実施クラス			実施日		実施保育者名
5 歳児	もも 組		10 月	10 日 (金)	中村

● 実施計画

活動テーマ		
アート～色のふしぎ～ 色について知ろう		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
日々の生活の中で、折り紙や画用紙、塗り絵など好きな色を選び自由な表現を喜んだり、楽しんでいる。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
11:10	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のテーマが【色】である事を知り、自分の好きな色を思い浮かべる。 ・1人ひとり前に出て、自分の好きな色、好きな理由を発表する。 ・様々な色に対するイメージを考え、自分の考えを発表する。 ・青色の食べ物のプリントを見て、どのように感じるか考える。 ・着色料の話聞き、どんなもので色づけされているのかを知る。 	<p>【環境設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が自由に発言できる雰囲気を作る。 ・正解を求めるのではなく、予想したり自分の考えを発言しようとする態度を大切にする。 ・プリントが見やすい配置、環境を考える。 <p>【活動使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色彩心理学についてのプリント ・赤、青、黄色、紫、緑、ピンク色がもたらす色の影響 ・青色の食べ物のプリント数枚 <p>【事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色彩心理学についてのプリント、青色の食べ物についてのイラストを印刷する。
11:45		

● 活動の様子



● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを聞き自分に好きな色があるか、どうして好きなのか理由を自分なりに考え、全体の前に出て発表し、自分の気持ちや思いを共有しながら進めた。 ・色もたらすイメージを一色ずつ考え発表し、自分なりの色の印象や友だちの印象を聞き、色への興味を深めた。 ・青色の食べ物プリントを見て、普段食べているものとの色の違いから、どんな印象を持つか自分の意見を発表した。 ・プリントにある青色の食べ物を実際にもある事を知り、どのように色が付けられているのかを疑問に思い、着色料の素となるものが何なのか考えたり、知る事で身の回りにある食べ物や飲み物にも色がついているのか考えを深めた。 	<p>【子どもの姿・声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「水色が好きです。理由はシナモロールが好きだからです」「黒が好きです。理由は、ブラックホールが好きだからです」と笑顔で自分なりの理由付けも共に話していた。 ・青色、水色に対するイメージを「爽やか」と話したり橙色には「蜜柑みたいで美味しそう」と話していた。 ・青色の食べ物を見て「毒がありそう」「腐ってそう」と話す子どももいれば「食べてみたい」「地球ゴミは青いよね」と様々な印象を持っていた。 <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の前で発表し終えた後は、保育者が率先して拍手をしたり笑顔を見せ、自分の気持ちを発表出来た喜びを感じられるようにした。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> ・1人ひとりが発表を行うまでに時間を少しとった事で、自分の考えをまとめる事が出来た様子で戸惑いなく発表していた。今までの探究活動を通して、発表することへの喜びが感じられた。 ・青色の食べ物に対し「食べてみたい」と感じたり身近なお菓子を思い浮かべる等の様子から、周りと同じ意見を持たなくても大丈夫と感じている、自由な発想を持っていることがわかった。 	<p>好きな色について理由を加えて発表することができたり、青色の食べ物のプリントを見て、感じ方が違っていても1人ひとりの良さを認めることに成長を感じた。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 もも 組	2 月 20 日 (金)	中村

● 実施計画

活動テーマ							
おかね ～ねだんをくらべてみよう～							
活動テーマに関する 日頃の興味関心について							
日頃から様々な食べ物や飲み物を購入する保護者の姿を見て、物の価値や自分に必要なものが何かを感覚で捉えている。							
活動スケジュール	環境設定・準備物						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:40</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の振り返りを行いお金を得る事について理解を深める。 ・同じような商品でも値段が違うものがある事を聞き、どのようなものがあるか考え、ホワイトボードにまとめる。 ・グループに分かれ、比較対象となる商品カードと値段を基に、値段の違いについて考える。 ・1人500円持っているとしたら、3種類のうちどれを買うか、グループごとに考える。 ・自分が決めた買うものを発表する。 </td> </tr> <tr> <td>10:20</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの意見を聞き、気付いた事や感じた事を発表する。 </td> </tr> </tbody> </table>	時間	内容	9:40	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の振り返りを行いお金を得る事について理解を深める。 ・同じような商品でも値段が違うものがある事を聞き、どのようなものがあるか考え、ホワイトボードにまとめる。 ・グループに分かれ、比較対象となる商品カードと値段を基に、値段の違いについて考える。 ・1人500円持っているとしたら、3種類のうちどれを買うか、グループごとに考える。 ・自分が決めた買うものを発表する。 	10:20	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの意見を聞き、気付いた事や感じた事を発表する。 	<p>【環境設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が自由に発言できる雰囲気を作る。 ・正解を求めるのではなく、予想したり自分の考えを発言しようとする態度を大切にす。 <p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品カード(比較対象) ・値札 ・ホワイトボード <p>【事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数組の比較対象となる商品カードを用意し、それぞれに適切な価格を設定しておく。
時間	内容						
9:40	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の振り返りを行いお金を得る事について理解を深める。 ・同じような商品でも値段が違うものがある事を聞き、どのようなものがあるか考え、ホワイトボードにまとめる。 ・グループに分かれ、比較対象となる商品カードと値段を基に、値段の違いについて考える。 ・1人500円持っているとしたら、3種類のうちどれを買うか、グループごとに考える。 ・自分が決めた買うものを発表する。 						
10:20	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの意見を聞き、気付いた事や感じた事を発表する。 						

● 活動の様子



● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・前回の振り返りを行い、お金の貯め方、使い方を自分なりに感じ発表した。 ・同じ商品は同じ値段で売っているか、自分の生活をイメージしながら考えていた。 ・画像を見ながら、値段の違いを確認しどうしてそのような違いがあるのか考えを発表した。 ・3グループに分かれた後、それぞれ500円を貰い、値段の違う3種類の商品の中でどれを買うか話し合いを進めた。 ・どの商品を選んだかグループごとに発表し、重点を置いた所を共有した。 	<p>【子どもの姿・声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コカ・コーラとペプシコーラって事?」「いくらなのが見てないから分からないけど、同じじゃない気がする」と自分なりの解釈を発表していた。 ・画像を見ながら違いを確認する際「作るのに大変だと高い」「ジュースとか沢山使うと高い」と話していた。 ・グループに分かれ話し合うと「高い方が美味しいんじゃない?」「みんなで分けるなら沢山じゃない」と話していた。 <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物の値段を意識しながら生活をしていない子どもにも分かるよう、画像を見せるなどして自分たちの気付きを引き出せるようにした。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> ・同じ商品だが値段の違いは何かという質問には【大変さ】という解釈があり、前回までの活動の気付きの繋がりが感じられた。 ・グループに分かれて限られたお金を、何に重点を置いて選ぶか考えた際に「みんなで分けられるように」と分け合う事に重点を置く言葉が出ており、個人でお金を使う時と集団でお金を使う時の使い分けを感じられた。 	<p>大人も「価値がある」ものにお金を払うことで責任ある消費が果たされるように、子ども自身がなぜそれが欲しいのかそれがあれば自分は(周りは)どういう価値を得られるのかなどが自分の言葉でうまく伝えることができるようになると、自ずとお金の価値観について学ぶことができると感じた。</p>